

救急拠点 さらに充実

大隅曾於地区消防組合 曾於消防署開署式



4月2日、大隅曾於地区消防組合曾於消防署開署式が大隅町岩川（シルバー人材センター跡地）で開催されました。

大隅曾於地区消防組合は、昭和52年に旧曾於郡8か町の消防組合として発足し、現在曾於市、志布志市、大崎町の2市1町で構成され、人口89000人、世帯数41000世帯となっています。

当地区では、高齢化が急速に進行し、救急業務の充実・向上が最優先課題となっていました。それらに加えて、曾於・志布志両署は昭和53年の建築であり、老朽化や耐震性といった問題も抱えていました。

完成した新庁舎は、8500平方メートルを越す敷地に、耐震設計で多目的トイレ、個室仮眠室、除染シャワー室、出動ホール等を備えた2階建ての本庁舎と訓練塔、さらに夜間でも操法訓練のできる野外訓練場を設けてあります。

今回の開署により、大隅曾於地区消防組合は、2署、1分署、2救急分駐所の5拠点、7救急隊体制となりました。

このことで、住民の安心・安



全を確保するための指数であるレスポンスタイム（通報から現場到着までの所要時間）がさらに短縮され、「命の地域間格差」がより解消されるのではないのでしょうか。

閉式後には、訓練披露が行われました。開署を祝福するかのような澄みきった青空の下、きびきびと行動する隊員達の様子を見て、出席された方は、さらに頼もしさを覚えたのではないのでしょうか。

関係者全員の終始穏やかな笑顔がとても印象的な式となりました。